夕刊
磐城新聞
五月十日發行
（日曜祭日翌日休刊）

臺灣だより

青木淳

二

渡臺して三日目に、東海岸の宜蘭といふ處に行つてみた。ここの舊家であるといふ林といふ家を訪ねるのであつたが、近所できいても仲々わからなかつた程貧弱な家であつた、これが舊家なのかしらんと思つた。出て來たのはよぼよぼの五十恰好のおやぢさん、刺を通ずるとよ 來たといふのであらう、歡迎の意を表してくれた。どうも言葉が通じないのにこまつてゐると、この家の親類の青年で通譯の出來る青年が飛んで來たので早速種々話をした今夜は何もなくとも泊まつて行けとの事で、まづ泊る決心をしてその二人の案內でここの公學校を訪問した校長に面會した、勿論內地人であるとても立派な學校である、こちらは大てい煉瓦造りの堂々たるもので公學校は臺灣人のみの小學校をいひ、內地人の學校は別に小學校が必ずつくられてゐるのである。

公學校に入るのは義務敎育でないから募集人員を超過すると入學出來ぬ事がある、とに角臺灣人（本島人と稱す）の先生と、內地人の先生と半々位でやつてゐるが、校長は大部分が內地人であるといふ事である。そして公學校の敎科書は特別につくつてあるが、算術だけは內地と變りはない。學校に於ける言葉は內地語を用ゐてゐるので、公學校を出た或は目下入學してゐるものは、すべて內地語を話せるから五十才位の老人と話をする時はそれらの子供等は通辯の役のつとめが出來る譯で本島人の子供等が『いらつしやい』等といふてゐるのが可愛らしいものである。

公學校では種々兒童の成績品を見せられたが、仲々內地の子供にも劣らぬ程立派なものがあつた。

そこを辭して林家にかへつてみると、林¨の妻君が料理をつくつてまつてくれた。ここのおやぢさんには勿体ない美人で而も年の若い細君であるのでよく訊いてみると、後妻だといふてゐた。とてもひなには稀とといふ美人、支那服を着てある事は勿論であり、私に對して『來々』といふて叮嚀にお辭儀をする。ここに九才の女の子があり、名前をきくと『秋子』といふのだと答へた、本島人で秋子はとてもよかつた。

三人で支那料理をつゝいで臺灣酒をのんだ、燒酎のやうな赤い酒だ、とてものめぬのでビールを買つてやつと助つた

夜、かやに入ると、秋ちやんもねてゐて私のフトンをびつぱつたりする無邪氣なのには、私も自分の子のやうな親しみが湧き人種は變れど人情には變りはないと、しみじみ考へた。しかし夜、ここのオヤヂさんが室の一隅にチョロ〳〵桶に小便をやらかしたのには驚いた。聽てその小便の惡臭が室一杯にひろがり私もねられない。仕方ないから頭から自分のワイシャツをかぶり鼻をつまんでねたが、あついので弱つた。

何しろ、布團らしい布團もな、、板敷に莫座の上にねるのだから、中々內地のものは眠るのに苦心する。

磐新歌壇

小山田滋選

『事務室』　秋間小路

○嗅ぎ慣れしものにしあれど空青き、今朝はインキもしたしき香ひ

○明暗をくつきり見せて事務室に、埃を浮かす眞晝の陽光

○一日の計算事務に疲れたる、腦にひびき大金庫は閉づる

○ときどきに額に手をやる癖もつきぬ、熱をおそるゝ此の頃の我

○暮れゆけば縣社の森の梢々はゆれ細やかに闇をむかふる

習作帳

渡邊何鳴

うすうすと枝垂櫻の若葉かな
○
突風のさそう辛夷の落花かな
○
一本の櫻に幕の張られけり
○
花の瀑奉安庫の眞上より
○
風波に山影動く代田かな
○
虎杖の嫩葉ばかりの畦となる
○
山女釣り巖の上にあらはれし
○
深淵や梨の花屑たゞよへる
○
虹の空ながるゝ風のありにけり
○
芝摘くや菫の花のまじりたる

櫻の芽（童謡詩）

高橋亘

かげらう
もえてる
山ふもと
しばかり
お馬も
來てら
櫻の
青芽
ふくらんで
春も
來るのか
けぶつてる。

とんぼ

あやめの花に
べにがらとんぼ
とまつてる
風が吹く度
其の翅
光るよ

新芽

春雨にぬれた
野山の芽
新芽も青く
伸びました
春日を受けた
木の芽山
小鳥の聲も
さわがしい。

新刊紹介

◇有畜農業（五月號）、卷頭言有畜農業も家族制から（自力更生の眞髓）山崎延吉（有畜農業經濟講話）參木晋七郎（梅雨季に於ける最善管理法）高橋廣治（蠶業の有畜化はどうすれば良いか）芝荒雄、其他縣賞原稿募集、短歌、俗謠等趣味方面の記事も豐富（一部十錢名古屋市南區瑞穗町其社）

社會の今日

5月11日

△佛艦二隻琉球に來りて互市を請ふ（弘化三）△阪神間鐵道竣成（明治七）△露太子大津遭難（同二四）△地辷り地明神山の工事場で大崩壞の爲十一人生埋めとなる△通化の全邦人北山城子に避難△滿洲、上海兩事變犧牲者發表總數三千八百八十六名（昭和七）

○
鬚剃りしおとがひ青し
更衣　凱風

ひとり身には小鳥が朝の時計です、アスパラガスに吹かす寢貫　井上多喜三郎

拈華微笑

◇落選の苦杯數個誰に歸するかそろそろ薄氣味惡くなつて來た

◇時節柄權義双方共締めが早しと見ね債務調停大部分が圓滿解決

◇送荷先に注意する珍デー・爾餘は不注意デーと心得相成可然哉

◇白晝エロギャングの横行。子女持つ親御さん御用心の事

◇雨。雷鳴。初夏氣分一としほ

講談　劍火無情

(10)　津屋義人作　菅野祐作畫

梅咲く頃（二）

唯一人に五人は斬立てられ、浮足立つ所を玉五郎は

『口程でもねえ野郎どもだ!』

一足踏込んで前なる一人をザックリ肩口に斬込み、のけ反つて倒れるに目もくれず、更に背後の敵を横つ拂ひに胴を斬つた。殘る三人は廣くもない處で逃げ場が判らず㞐誤々々する

『さア今度は三人の命だ』

『ア、恐れ入つた』

『暫く、先づ暫く』

『何卒暫時御猶豫を願ひ奉る』

玉五郎は血刀を取直すと三人は大地にペッタリ座つて兩手を支いた

板前喜助の急報に依つて名主は八州に訴へ、役人は仰山にも二十五六人出張した

二人が斬倒され、三人が降參してゐるのを見るや、忽ち元氣づいた八州

『不埒な浪人ども』

『昨宵、長者屋敷を荒したは此奴等であらう』

『御用だ神妙にしろ』

十手捕繩で取圍んだ

玉五郎は冷やかに笑つて

『コリャ大層な御出役で御苦勞樣でした、暴れた二人は斬りやしたが、酒の上でした事だ。此三人に繩を打つてもマア好い加減な所で勘辨してやつてお吳んなせえ、で下手人は此玉五郎だから何うか俺にも繩を打つて下せえまし』

斯う言つて血刀を捨て八州の前で兩手を背後へ廻した

名主は其間に立つて

『イヤ親分、有難い係だ、今更ながら感心しました。然し此頃の志士とか、浪人とかいふ人達には兎角僞者が多くつて隨分此結城許りぢやない。小山へ行つても、宇都宮で押借り強盜、人殺しと惡い事の有りツたけを盡してゐる、さうした暴れ者を斬つて花本一家の災難を救つて吳んなすつた事ゆえ、役人衆からは大したお咎めもあるまいマア町會所へ行つて一通り申述べなさるが可い……別に繩は打たなくつても……左樣ではございませんか』

それと八州へ願つた、役人は常に自分等が怯え切つてゐる浪人を玉五郎が斬つて降伏させたので內心大に喜んでゐる

『イヤ取調べぬ中は判らんものゝ玉五郎に罪はあるまいと存ずる、なれども其三人の者は繩打つてひけよ』

下役にいひ付けた上

『二人はまだ息がある。一應檢視を致す』

玉五郎は又笑つて

『御心配なせえますな、急所は避けてあります。決して死ぬ氣支ひはありますめえ』

『ハ、ア左樣であるか』

『それよりも役人衆、五人の者は何れの御藩中か、浪人なら生國や素性をお尋ねなせえましな』

玉五郎に斯う注意されて八州は稍狼狽の氣味

『いかさま、其事々々』

厠前の手水鉢、其右手の袖垣に立つてゐた若い江戸藝妓のお絹、小聲で何やら女將に言つた、其刹那に玉五郎の目は初めてお絹の目とピッタリ合つた

荒いごぼうじまのお召の給に金糸の入つた茶博多の丸帶、とき色の帶上げとすそに緋と燃ゆる蹴出しが又なく濃艶に見ゐた

取調べをしてゐる所へ杖を肩に暢氣そうな按摩が入つて來た

『お絹さんは何處にゐなさいますね』

盲目滅法界に血塗れの手負二人の側に立つた

『角市さん、斯麼所へ來ちやいけないよ、多勢お役人樣がお在だよ』

按摩角市は澄ました顏

『へイさうですかい、玉五郎さんが取鎭めなすつたといふから私も安心してはゐましたが、姐さんや內儀さんに怪我でもありやしないかと思つてお見舞に來ましたんですよ』

役人の一人は目に角立て

『エ、ツ、盲蛇物に怖ぢずとは其方の事だ、吾々の面前へ無禮な奴、見舞ならば靜かに致して居れ』

叱られた角市は肩から杖を地に下ろして、其しゆ木に兩手を置き

『御無禮になつたらマア勘忍してお吳んなさいまし、だが此頃の浪人はお役人方の手には了へませんからねアツハ、、、ハ』

嘲笑されても此一事は八州等も一寸返答が出來なかつた。

磐城名物
北海屋のもち飴
糯米製
進物用　ボール函入（小函）二十錢（大函）三十錢
同　罐入　五十錢
同　壹圓
本品ハ消化吸收頗ルヨク病人、産婦、老人、幼兒ニ好適ナル食物タルハ勿論ピクニック、運動、旅行等ニテ疲勞ノ際之ヲ食スレバ直チニ元氣回復スル事妙ナリ。
北海屋製菓部
平町字二丁目　電話二八八番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

耳鼻咽喉科專門　院長醫學士　鈴木正男
齒科口腔外科　日本齒科科長醫學士　鈴木喜政
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

五月人形陳列會
◎非常時日本の心意氣!
尚武人形!
節句祝は我國の精華古來の美風
◎品ご値で常に祝品界をリードするフクダヤの名作品
御座敷飾セット　六圓ヨリ百五十圓迄
武者人形　一圓ヨリ三十圓迄
金太郎人形　五十錢ヨリ十八圓迄
五巾外のぼり　十圓ヨリ四十五圓迄
大鯉のぼり　二圓ヨリ四十八圓迄
二丁目のフクダヤ

横濱植木會社の
春蒔き草花種子
がまいりました!!
◎種子は輸出向きの優良質植木會社の特撰品です。
◎◎（草花種子の蒔き方）差上げます
球根、塊根類の御註文もお受けします。
西村屋藥局種子部
二丁目　電三番

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
増田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番
（入院隨意）

內外建築材
建具材
入阿部材木店
磐城國平町（公園下）
電話四九四番

新製品發賣!!!
コーヒー通待望のコーヒー來る……!
ジャバ
モツカ
グアテマラ
本場コーヒー三種配合挽立
……1/4封カンス三五錢
1/2封カンス七十錢
味覺滿點
香味本位の本場銘茶を召上りませ……
電三九六番
大勝園

短期特別大興行
パラマウント本年度超特作大歷史劇
主演…フレドリック・マーチ　エリッサ・ランディ　クローデット・コルベール　チャールス・ロートン
出場人員…八十餘人
オールトーキー日本版
暴君ネロ　十四卷
慘虐艶麗壯大無比大ローマ帝國暴虐史!
松竹特作現代映畫
オールトーキー
若き日の感激　十卷
監督……五所平之助
川崎弘子、瀧口新太郎、齊藤達雄、日守新一
オールトーキー
漫畫　ミツキイマウス
十一日。十二日。二日間
入場料　普通席　大人…三〇　小人…一〇
壹等席…四〇…二〇
特等席…五〇…三〇
本興行中從來發行の入場券及び割引券は御斷り申候
平館

難波醫院
內科
小兒科
醫學博士　難波睦
平町新川端櫻堤
電五〇二
（…入院隨時…）
看護婦募集

吉田眼科病院
平町紺屋町

幼稚な補習學校から五年制の甲種になる迄
けふ無量の感慨裡に行はれた
平商創立廿周年記念式

平商創立二十週年記念式は既報の如く今十日午前十時から來賓百餘名、商友會員二百五十名參列開式、國歌合唱、矢野校長式辭、青沼町長、菅本同窓會長、來賓野崎縣議、在校生總代五年生四家肇君の各祝辭あつて勤續中村（十三ヶ年）武川（十ヶ年）兩教諭の表彰記念品の授與あり十一時閉式、教員、商友會員の物故者追悼會を開き終つて午後からは松ヶ岡公園に於て園遊の宴を催した、別項校長式辭の外商友會長の祝辭左の如し

祝辭

吾母校平商業學校本日玆に創立二十周年記念式を擧げられ朝野貴賓の賁臨を辱ふしたるは母校の光榮にして吾等の衷心より感激に堪えさる所なり、顧るに母校は大正二年の開校に係り當時商業補習學校たりしもの爾來機運歲と共に振作し時代の趨勢に従ひ昭和五年甲種程度の商業學校となり以て今日に及び卒業生將に一千に達せんとし其の學得せし所の智識を活用して各自其業務に精勵し以て邦家のために貢献し母校の校風を發揚せんことを期するは我等卒業生の現況なり、之町當局の深甚なる斡旋盡力と校長並に諸先生の經營教導の賜にして寔に感謝に堪ねざるなり、若し夫れ母校が益々發展し卒業生益々多からんには地方の爲のみならず國家のために裨益貢献して斯界に於ける忠良なる國民たるの本分を竭し得ること益々大なるべきなり、是れ以て吾等一同本日の記念式を歡喜慶賀すると同時に母校將來の機運に想到して欣抃自ら措く能はざるなり、而して吾商友會が今回の慶事に際し記念事業を翼賛せる所以のものも亦此に在りを存せり、謹みて微衷を叙し以て祝辭とす

商友會長　菅本利雄

平町議の顏ぶれ
既に數名の超過
時は今天が下知る逐鹿の皐月
選擧氣分漸く濃厚

纖細な均整を公園の葉櫻に感じ目も絢なる躑躅の色彩にビロードの柔かさを觸知する。天地自然から至上の美を展示されて視覺を總動員する五月の月はまた一面町會議員候補者が全身を耳にして强覺の全機能を發揮すべき季節である。即ち甲の暗躍、乙の手擲彈投下等等のレポートの見聞に敏感を欠く候補者ありとせば蓋し最初から何分かの弱味があると云ふ事になるからである、處で平町の官能は昨今什麼ふうに顫えて居るか？從來のそれは略ね未定稿と云ふ處だつたが次が今迄に出揃つた顏ぶれで嬉しい事には所謂賣名その他の目的で最初から問題にならぬ人物の自薦めいた立候補發明などはテンで話題に上されず其間選擧大衆の向上を物語つてゐる

鎌田　鈴木光吉（再）
猪狩觀德（新）
佐藤岩次郎（再）
大工町　多田弁笑次郎（新）
二丁目　關内正一（再）
古研　吉村安次郎（再）
大谷要次郎（新）
永山富廣（再）
紺屋町　馬目雅治（再）
吉田寅之助（再）
胡摩澤　花澤久一郎（元）
長橋町　川崎文治（新）
久保町　會川延太郎（新）
一丁目　坂本隆藏（再）
五丁目　井上茂作（再）
馬目武之助（再）
新川町　松崎長大郎（新）
三丁目　小野伊佐治（元）
月見町　根本品藏（再）
鐵北　佐々木龍若（再）
北目　荒井滋藏（新）
搔槌　綠川喜三郎（再）
色川勝三郎（新）
田町　野崎滿藏（再）
酒井清（新）
白銀町　高橋亀松（再）
櫻井清（再）
南町　齊藤寅吉（新）
小松茂（新）
吉田五平（再）
鍛治町　萩原義雄（再）
材木町　石山治三郎（再）
八幡小路　吉田金作（新）
六七丁目　佐藤榮吉（新）
荒川淺次郎（再）

因に前記の内佐藤榮吉、色川勝三郎の諸氏は尚ほ考慮の餘地あるものの如く傳へられてゐる

郡下匡救事業補助 割當額決完
廿八萬圓の内容發表さる

本年度本縣匡救事業の市町村事業種別的に補助金割當は九日發表されたが本郡關係は土木關係道路、河川、港灣及桑園整理改植の四種目で此の補助割當額は次の如くである

四倉	三、九〇〇
上下小川	二、九〇〇
川前	二、九〇〇

合計道路十萬八千三百圓、河川三萬圓港灣十三萬五千九百八十三圓の總高二十七萬二千二百八十三圓

道路河川港灣

山田村	四、九〇〇圓
錦村	七、八〇〇
勿來	六、八〇〇
（河）	一〇、〇〇〇
上遠野	五、四〇〇
入遠野	四、九〇〇
川部	三、九〇〇
平	九、八〇〇
豊間（港）	七八、一五〇
江名（同）	二三、〇〇〇
内郷	一一、七〇〇
（河）	一〇、〇〇〇
鹿島	二、九〇〇
好間	七、三〇〇
湯本	一四、七〇〇
赤井（川）	一〇、〇〇〇
永戸箕輪	五、八〇〇
三坂澤渡	七、八〇〇

桑園整理補助

泉村	七四
植田	一〇七
錦	八七
上遠野	三六〇
川部	四三
平	三九
夏井	五三
豊間	四二
鹿島	四二
玉川	一一
好間	一〇二
永戸箕輪	七〇五
神谷	四一
大浦	二五一
大野	四九四
上下小川	三七二
渡邊	一四七
山田	五六九
勿來	一三〇
入遠野	五一三
田人	四三一
飯野	五一
高久	一四九
江名	六
磐崎	九一
内郷	三九
赤井	三〇四
渡邊三坂	九四五
菅野	二一五
四ツ倉	六三
平窪	一六六
川前	三九九

合計七千五百十圓

國力充實の基を築く 實業教育の普及發達
平商創立廿年記念式辭　矢野校長

本日玆に本校創立二十週年記念の式典を擧ぐるに當り來賓各位の臨席を辱ふし、多數卒業生諸君の來會を得たるは本校の光榮とする所なり。抑々本校は縣下有數の商業地にして其の急速なる發展は實業教育機關設置の氣運を促し本町有志之が創設の計劃を樹て實業補習學校の名を以て第一小學校内に開校せり、之實に大正二年本月本日にして本校の濫觴なり、同九年組織を變更して乙種實業學校となし、爾來年を逐ふて堅實なる發展をなし殊に近時一般教育思想の進歩と時勢の進運とに伴ひ昭和五年更に現制度の甲種實業學校に進み以て今日に至る、其間入學者も漸次增加し、今や生徒實數四百二十一名、卒業生八百九十一名を數ふるに至れり、思ふに本校今日の隆盛あるは實に二十年前當町有志の卓見に基くと雖も爾來二十年間當町々民各位が協心戮力斷へざる熱誠と同情とを以て本校發展の爲盡瘁せられたる結果に因るものにして其間育英の業に從ひたる幾多教職員の努力は又克く創設當時の趣旨を貫徹せしめ以て今日の盛況を促したり、是れ眞に國家の慶事にして感激の念に堪えざるなり、而して卒業生は其向ふ所固より一ならずと雖も各自の業務に精勵し經濟界に寄與し以て國家に貢獻しつゝあるは洵に慶賀に堪へざる所にして今後益々發展光彩を放つべきを信じて疑はざるなり、今や時局極めて重大にして産業の隆盛國力の充實を圖るは方今の急務なり、其の根本的方策は多くあると雖も結局實業教育の普及發達に俟たざるべからずと信ず、不肖會々職を本校に奉じ此の好機に遭進し本日の盛典に闘りたるは實に榮譽とする所にして玆に報謝の意を表すると共に各位の將來一層の指導と援助を懇請して止まざるなり、玆に聊か卑懷を陳べて式辭とす

平商業學校長　矢野泰次郎

國際的選手も交る 精銳日立と接戰
意氣軒昂の磐炭競技部

地方運動競技界の王座を占むる磐炭競技部では來月二十五日之亦關東の覇權を握る日立選手を迎へて對抗試合を行ふが日立競技部は昨年全國實業團体競技大會に第三位を獲得し更に今年はオリンピックに出場し優秀な成績を收めた花形選手四百米の增田及ハンマー投長尾兩氏其他が加入し新陣容を整へ昨年慘敗した雪辱を期して居るだけに磐炭では非常に緊張し再勝を期し目下高坂グラウンドに猛練習中であるが右對戰こそ地方運動界の豪華版としてファンの血を湧かせて居る

磐炭健保競技　磐炭健康保險課の各坑對抗運動會は二十八日午前九時から高坂グラウンドで行ふ

。。。。第三區敎務主任會。。。。　今十日午前十時から平第一校に開催

金錢債務調停は大部分圓滿解決
平區の成績頗る良好

平區に於ける債務調停は昨年十月開始以來成績頗る良好で去る一月以降現在までの引受け八十八件中圓滿解決七十二件で未着手七件取下げ九件であると

精農受賞者
昨日植田で授與式

植田町農會主催七年度各種品評會褒賞授與式は昨九日午後一時から役場で擧行したが受賞者左の如し

△水稻坪刈1鈴木保2木田卯之松、須田保平3鈴木平次外二名4柳葉善之助外三名　△苗代1鈴木英次郎2鈴木輝次、赤津又一3鈴木政治外二名4阿部福榮外三名　△堆肥1水野善作2小宅貫吉田傳次郎3小川淸次外二名4大平一雄外三名　△二毛作大麥1小宅勇2赤津千代松、赤津傳吾3水野善作外二名4高木旬外三名　△紫雲英1木田貫藏2吉田一、佐藤總太郎3丹野福松外二名4佐藤淺次郎外三名　△菜種1大平一郎2大平洋、三戸善作3大平一雄外二名4吉田一外三名

田植の走り
來月十八日分場で

神谷農試分場では來月十八日郡下のトップを切り田植をするが二十日頃から向ふ一週間が一般最盛期である

乘降約一萬人減
平驛去月中の赤字振り

花どきの人出を物語る平驛去月中の乘降は
（乘）三十七萬九千四百十三名　（降）三十七萬五千六百六十名
合計七十五萬五千百二十三名で博覽會其他の特別催しのあつた昨年同期よりは乘降に於て九千百九十一名の減少であつた

一寸入れる丈で 年額三千兩
平驛の入場券賣上

同驛昨年度中に於ける入場券の賣上高は六萬三千百五十六枚この金額三千百五十七圓八十錢で前年度中に比し凱旋兵の歸着、通過の關係から三百十九枚十圓九十五錢の增加であると

送荷注意日
鐵道に新デー出現

東鐵管内では明十一日より十日間、手、小荷物、貨物の宛名に注意し着驛の萬全を期する事になつたので平驛でも驛員に命じ詳細な宛名と集配區域を確めた上引受ける事になつた

。。。。平署警官異動。。。。　平署の異動は昨九日左の如く發表された
綴へ　七區　菊地巡查
七區へ　二區　田中巡查
二區へ　浪江　綠川巡查

旅館荒し專門の賊
松原署で郡下の罪狀自白

去月十四日夜上遠野村旅館坂本屋方に植田署の刑事山本作治（三五）と自稱投宿した男が數日間滯在の上宿料十餘圓を踏倒した事件あり屆出により植田署で犯人の行方を嚴探中此の程茨城縣松原署の手に檢擧された同縣多賀郡南中鄕村生れ前科六犯渡邊岩次郎（三六）が該犯人である事を自白したが取調の結果前記の外四月初旬勿來町白米の湯坂本淺次方に投宿八日間の宿料を踏倒した上宿客から二十二圓在中の蟇口一ヶを窃取同月中双葉郡廣野村折木温泉鶴屋方に五日間滯在宿料十圓を踏倒した上現金三十二圓を窃取等同樣手段で各地の旅館を專門に荒し廻つてゐた事を自白した

祭典氣分が過ぎて 自動車を傷く
御輿連へ損害要償

小名濱町小野自動車部運轉手大場松男（三〇）は一昨八日午後一時頃鮮魚を滿載したトラックを操縱し豊間村薄磯地内縣道を平町方面に向けて進行中前方から數十名の青年が採んで來た夏井村白山神社の御輿に出會ひ頻りに警笛を鳴したが道が開かぬのに業を煮やし罵聲を放つた爲め青年團員が激昂し喊聲を擧げて自動車に迫り御輿の鼻棒を打付け車体に約八十圓の損害を與へ調停者が入つて其場は納まつたが被害者から青年團へ損害賠償を要求中である

消防功勞者
三組頭其他表彰

今十四日喜多方町に開催された縣消防大會に於いて平町組頭井上茂作氏は功績章を授與されたが更に同組第一部長小頭關内正一、小頭三井富吉、川部村組頭兒玉萬平、勿來組頭小松章、同小頭志賀平次の五氏は優良組員として表彰精勵章を授與された

。。公判。。　上遠野村運轉手山野國治（三〇）が去月初旬貨物自動車を運轉同村地内で幼兒を轢殺した業務上過失致死事件の公判は來る十八日午前九時から竹内判事係り三塚檢事立會開廷する

教育研究會
郡下廿校長參集

郡下小學校長二十名の教育事務研究會は來る廿六日午前九時から平第二校に開き校内設備、教授實況、設內容、教訓其他の指導振りを研究實査すると

四倉通信
現新妻町長 再選稍々確實

四倉町會は明十一日午前九時より開催、小學校增築費起債並に豫算を附議し尚ほ十四日には町長の改選を行ふ筈で目下の處現新妻町長再選と前町長杉山新伍氏推薦派の二つに岐れてゐるが各町議の意向も再選に傾いてゐるらしく觀測さる

。。。。署長組頭出席。。。。　根本四倉署長、金成組頭、佐藤部長小頭諸氏は喜多方町に開催の縣下消防組頭大會に出席のため今十日午前十時十八分出發した

白澁病發生
菜種畑に大脅威

最近郡下の菜種に白澁病が發生し被害甚大で益々蔓延の兆あり神谷農試分場では目下豫防を督勵して居るが驅除方法が無くボールドの撒布に依つて單に擴大を防止するに過ぎぬ有樣で今後を憂慮して居る

超喜劇「平生れの花嫁」
都の灯に魅惑されて式場から迷子になる

◇…結婚式の席上花嫁さんの雲隱れ、だが例の結婚解消ちやなくて此嫁さんは實に無邪氣だつたんである初夏らしい話——平町一二六四太田正次郎さんの長女房子さん（二六）の氣立の良いに惚れ込んだ某世話好きが月下氷人となつて東京本所區東駒形町一の六小島義二君（三二）何れも假名—といふ自動車運轉手さんに媒酌して目出度く七日夜結婚式をあげ三々九度の杯も終つたあと忽然と花嫁さんの姿が見ねなくなつた

◇…今流行の解消とばかり、喜びを祝ふ席は忽ち大騷ぎ、結局なだめすかして一夜を明かした花婿義二君のところへ八日朝言問署から妻引取の呼び出しが來て目出度く幕となつた、理由はかうだ

◇…平町から出たばかりの花嫁房子さんは都會が見たくて仕方がなく、式の間ももどかしさうにしてゐたもの〻とう〳〵堪へかねて灯にあこがれて家を出たがサテ氣がついてみるとこ〻はお江戸、歸へる道がわからなくなり本所方面を步き廻つた末朝の四時頃業平橋五先の柳島橋上で行き惱んで思案中を言問署員に發見されたものとわかつた

白晝の痴漢
女兒に暴行す

平町長橋町某の伜（一八）は昨九日午後二時頃某所に於て學校歸りの某女兒（特に場所氏名を秘す）に暴行局部に裂傷を負はせ其筋に取り抑へられたが他にも被害者がある模樣であると

十三日例會

本月十三日會例會は當日午後七時からマルトモホールに於て開催、磐城中學校長小檜山久作氏の講演ある筈

。。。。平商郊外遠足。。。。　來る十七日及來月七日行ふ

中野谷雄儀豫て病氣中の處藥石効無く去る五日鄕里鳥取縣西伯郡大幡村の生家に於て永眠致し候に付此段生前辱知の諸彥に謹告候也
追て葬儀は今夏中平町大寶寺に於て告別式執行可致、期日確定の上は更めて御報可申上候

昭和八年五月九日
大阪市外吹田町泉町三ノ二〇四
喪主　中野憲次
男　中野春鄕
父　中野浩忠
外　親戚一同

舊四月十七日　水曜　丁丑　友引　成　斗宿　新五月十一日

諸判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神易館

▲一白の人　內には穩なれども外には不信を招き易き日　▲二黑の人　平凡の如く見ゆれども根氣次第利得ある日　▲三碧の人　先を見込での賣買は失敗に陷り易き日注意　▲四綠の人　初めは運氣弱けれども次第に吉と成るべし　▲五黃の人　內輪揉めさへ無ければ自ら發展し行くべし　▲六白の人　自重して進めば大吉なり企業婚談皆成る日　▲七赤の人　引立てに逢ふて昇進するの日開店名弘皆吉　▲八白の人　事業選擇に苦しむ日急げば不覺を採るべし　▲九紫の人　目上の差圖を受けて努力すれば成功する日